

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Nivo + FOLFOX
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 俊
適応がん種	胃がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ga-45
登録日・更新日	2021年12月28日
削除日	
出典	Lancet 2021; 398: 27-40 最適使用推進ガイドライン
入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)						
No.	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オプジーボ点滴静注)	20mg、120mg、240mg	240mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分以上	day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	オキサリプラチン (オキサリプラチン点滴静注)	50mg、100mg、200mg	85mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	day1
	大塚糖液5%	250mL				
No.3	レボホリナートカルシウム (レボホリナート点滴静注)	25mg、100mg	200mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input checked="" type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	day1
	大塚糖液5%	250mL				
No.4	フルオロウラシル (フルオロウラシル注)	250mg、1000mg	400mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	bolus	day1
	生理食塩液	50mL				
No.5	フルオロウラシル (フルオロウラシル注)	250mg、1000mg	2400mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	46時間	day1
	生理食塩液					

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【減量基準】 好中球減少症 Grade3以上の場合、Grade2に回復するまで中断。回復後は1段階減量して再開 血小板減少症 Grade2以上の場合、Grade1に回復するまで中断。回復後の用量調節は下記の通り Grade2: 1段階減量して再開 7日以上Grade2が継続した場合はGrade1に改善後、オキサリプラチンは2段階減量 Grade3: 1段階減量して再開 7日以上Grade3が継続した場合はGrade1に改善後、オキサリプラチンは2段階減量 Grade4: 2段階減量して再開 7日以上Grade4が継続した場合はGrade1に改善後、オキサリプラチンは2段階減量 末梢神経障害 Grade2: Grade1に回復するまで中断。回復後はオキサリプラチンを1段階減量して再開 Grade3以上: オキサリプラチンは中止し、レボホリナートとフルオロウラシルのみ継続 消化器毒性 Grade2以上の下痢: Grade1に回復するまで中断。回復後は1段階減量して再開</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用量</th> <th>1段階減量</th> <th>2段階減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オキサリプラチン</td> <td>70 mg/m²</td> <td>50 mg/m²</td> </tr> <tr> <td>レボホリナート</td> <td>150 mg/m²</td> <td>100 mg/m²</td> </tr> <tr> <td>フルオロウラシル (bolus)</td> <td>300 mg/m²</td> <td>200 mg/m²</td> </tr> <tr> <td>フルオロウラシル (持続)</td> <td>2000 mg/m²</td> <td>1600 mg/m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中止基準】 下記有害事象を認めた場合は、中止を考慮すること。 ・Grade4以上の知覚障害 ・Grade3以上の皮膚粘膜炎 ・Grade3以上の血小板減少 ・Grade3以上の肝機能異常(AST、ALT、T-Bil) ・COcr < 30mL/min ・Grade3以上の薬剤性過敏症および注入反応</p>	用量	1段階減量	2段階減量	オキサリプラチン	70 mg/m ²	50 mg/m ²	レボホリナート	150 mg/m ²	100 mg/m ²	フルオロウラシル (bolus)	300 mg/m ²	200 mg/m ²	フルオロウラシル (持続)	2000 mg/m ²	1600 mg/m ²
	用量	1段階減量	2段階減量													
オキサリプラチン	70 mg/m ²	50 mg/m ²														
レボホリナート	150 mg/m ²	100 mg/m ²														
フルオロウラシル (bolus)	300 mg/m ²	200 mg/m ²														
フルオロウラシル (持続)	2000 mg/m ²	1600 mg/m ²														
前投薬	5-HT3受容体拮抗型制吐剤 + デキサメタゾン + H1受容体遮断薬 + H2受容体遮断薬															
その他の注意事項	・HER2陰性の患者に投与すること。 【オプジーボ】 ・インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用すること。 ・希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。 ・本剤の術後補助療法における有効性及び安全性は確立していない。 ・【免疫チェックポイント阻害薬有害事象対応マニュアル】を参照															

記入者	田中 慎
確認者	宮地 康徳